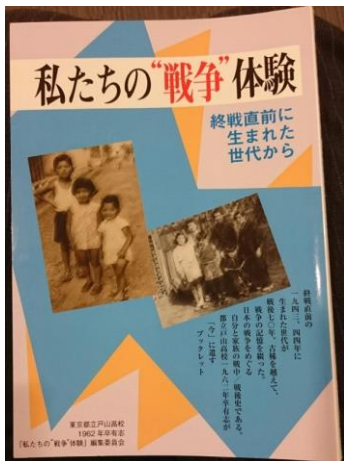


戸山オープンカレッジ(TOC)開催のご案内



一般社団法人 城北会
TOC土曜講座実行委員会

戸山オープンカレッジ(TOC)は、今年度から新たに城北会活動の一部に組み込まれ、「土曜講座」として再出発しています。既開催の2回では60名を超える同窓生、保護者の方々、在校生それに地域区民の皆様の参加を得て、今までとは違った情報発信の場になってきています。今回(第3回)は、戦争体験の最後世代として「我々がもっと積極的に戦争の悲惨さを若い世代に伝えなければいけない」と呼びかけ、文集を出版した、昭和37年卒業の方々から3人に講師となって頂き、縦横に体験を語っていただくことになりました。同年代を含む城北会の方々にも多数受講していただきたくご案内致します。

演題：私たちの「戦争」体験—文集出版に寄せて—

日時：平成30年2月17日(土) 14:00～16:00

会場：戸山高校 第2&3講義室 (校舎1階)

講師 文集を執筆・編集した昭37卒の方々

狐崎晶雄氏 元核融合の研究者、日本原子力研究所退職後、
計算科学、光通信なども (戸山高校天文班OB)

高原伸夫氏 元商社・企業財務 退職後、欧米での体験紹介
と五行歌の普及に尽力 (戸山高校新聞部OB)

伊東秀子氏 弁護士、元衆議院議員 (戸山高校新聞部OG)

講座内容

この数年間の政治情勢をみて、戦争(終戦直後)の記憶のある最後の世代として、われわれの記憶を次の世代に残す必要があると感じて、この文集を作った。焦土と化した敗戦国の飢餓と貧困状況の中で育った記憶の掘り起こし、そして、戦争が戦線から遠く離れた家族にとってどんなに長く忘れられない悲劇だったのか、満州からの悲惨な引揚げ。日本が起こした戦争なのに被害者と言う面だけが言われているが、文集には、わが国が近隣の諸国に対して行った加害の面も含んでいる。上からの命令によって他国の何の罪もないひとびとに加害を実施したひとびともその後どんなに苦しんだか。どのような状況になろうとも、戦争だけは絶対に避けなければいけないという強い願いを、若い世代に伝えなければと思う。われわれ世代の使命でもあると思う。今回のTOCに、できるだけ多くの若い世代のみなさんに参加していただいて、沢山の質問、議論をしていただければ幸いです。

文集は「戸山S37文集」で検索してURL [HTTP://www.geocities.jp/sensoutaiken2016/](http://www.geocities.jp/sensoutaiken2016/) から無料でダウンロードできます。楽天Koboでも無料。

申込み：氏名と「城北会会員」と明記して前日迄に城北会事務局へ
電話 03(3202)3349, FAX 03(3202)3740 又はメール johoku-toc@ml.toyamaob.org